

みんなでインクルーシブスポーツを楽しもう！

インクルーシブスポーツとは、誰でも一緒に楽しめるスポーツのことです。このプロジェクトでは参加しているメンバーも実際にインクルーシブスポーツを楽しみながら活動しています！その中で大きな規模のイベントを運営したり、小学校や老人ホーム、障がい者施設にも出前授業・出前講座を行いました！一緒にインクルーシブスポーツを楽しみましょう！

メンバー数：31名  
活動場所：伊勢市  
実施主体：伊勢市教育委員会事務局スポーツ課  
担当教員：大杉 成喜（教育学部）  
駒田 聡子（教育学部）  
活動年度：R05, R06, R07



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度は大きく分けて3つのイベントを中心に行いました。1つ目は皇學館大学生を対象としたインクルーシブスポーツのイベントです。昨年度の反省として、皇學館大学の学生がまだまだインクルーシブスポーツのことを知らないということが挙げられました。そのため、今年度は皇大生を対象としたイベントを行いました。イベントで行った種目としては、インクルーシブスポーツフェスタでも行えるような種目である。ポッチャ、モルック、ビックルボールなどを行い多くの学生に楽しんで参加してもらいました。2つ目はインクルーシブスポーツフェスタの企画・運営です。企画・運営については5月の段階からどの種目を行うか、スポーツの配置はどうか、どれぐらいの担当人数で行うか、準備物は何かあるかなどを種目の担当者ごとに話し合い、約半年かけて準備しました。フェスタ当日は、各種目内で協力してやりきることが出来ました。フェスタには過去最大の参加者が来てくださり(1000人以上)そのほとんどが楽しかったとアンケートで答えてくれました。課題としては、過去最大の参加者が来て下さったこともあり、待ち時間が長くなってしまったり、並び順がわからなくなってしまうなどがありました。ですが、フェスタ後の反省会でどのようにしていけばよいか来年度以降の改善策も話し合うことが出来たので、来年度以降に今年度の反省点を生かしていきたいです。3つ目は出前授業・出前講座です。どちらも担当になった学生が種目の決定から時間配分など参加してもらった人々のことを考えて準備をしました。どちらの活動でも参加してもらった子供から大人まで楽しかったと言ってもらえたり、またやりたい、家族や友達にも教えたいと言ってもらえたり、今年度からはスクエアポッチャという新たな種目も行い、活動としても新たなことに挑戦しながら進めていくことが出来ました。

月別活動

- 5月 7日 CLL代表者会議
- 15日 CLL説明会
- 22日 初回打ち合わせ(大学生向けイベントとフェスタに向けて)
- 6月 5日 大学生向けイベントの種目・ルール決定
- 19日 大学生向けイベントの実施
- 26日 フェスタに向けた打ち合わせ(種目・ルール決め)
- 7月24日 出前授業用の指導案作成【(スクエア)ポッチャ・モルック】
- 10月 2日 フェスタ前最終打ち合わせ
- 5日 インクルーシブスポーツフェスタの運営
- 1月15日 今年度の振り返り

10～12月の間に前出授業を実施。各学校別で実際に学校に行き事前打ち合わせ、出前授業を行う。7～8月の間に前出講座を実施。各施設で実際にポッチャの出前講座を行う。11月には四年生の学生2人と、伊勢市教育委員会スポーツ課の方で前テレビに出演しました。

活動を通して学んだこと

この活動を通してまず素晴らしい仲間に出会うことが出来ました。伊勢市教育委員会スポーツ課の方々とはこの活動なくして出会うことが出来ませんでした。私たちのために見えないところで動いていただいていることをとても実感し、自分たちが藤生宇なくできているのには裏で支えてくださる人がいてくれるからだということを知ることが出来ました。そして、学年の違う仲間とも出会うことが出来ました。様々な学年、学部の人と関わるのが普段の生活ではなかなか出来なかったため、この活動を通して多様な人と協力して何かを作り上げることの楽しさ、大変さについても学ぶことが出来ました。自分と同じ学年の子とはさらに中を深めることが出来、今まで活動してきた3年間でより強いきずなで結ばれました。また、出前授業・出前講座を通じてたくさんの方々に関わることが出来ました。参加して下さった方が笑顔でインクルーシブスポーツをされていたり、またやりたいと言ってくださった際には準備した私たちがやってよかったと感じることが出来ました。様々な人のことを考えて準備することで参加して下さる方も楽しんで安心して楽しんでくれるということを学べました。これは卒業後様々な人と関わる中でも生かしていける力であると思います。そして、たくさんの方々と一緒に議論しながら一つのものを作り上げていくという過程で、協調性・主体性・コミュニケーション能力・問題解決能力を身につけられたと感じています。たくさんの方々と話し合う時は、相手の意見や考えをしっかりと聞き、そのうえで自分の意見を伝えていき議論を活性化させていきました。また、それぞれが失火ありと意見を持つことで、新たな問題点に気づくことが出来、それを解決していくための話し合いを行うことが出来ました。他人任せにするのではなく、自分が主体となって活動をよくしていくということがより良いものを作り上げるうえで不可欠であるということを知りました。

実施主体からのコメント

伊勢市教育委員会事務局スポーツ課  
ご担当者様

3年目を迎えた本プロジェクトは、開始当初より参加していた現4年生を中心に参加された学生の皆さんが協力し合い、積極的に活動していただきました。

今年度は、約2,300人の来場があった「いせスポーツフェスティバル2025」を企画し、限られたスペースで多くの参加者が複数のインクルーシブスポーツを楽しむよう学生の皆さんが中心となって様々な工夫を凝らし、運営に取り組んでいただきました。また昨年度から取り組む伊勢市内の小学校を対象とした出前授業を継続しながら、新たに高齢者や障がいをもつ人を対象とした出前講座を学生の皆さんから発案していただき、インクルーシブスポーツをより多くの人に体験してもらえた一年となりました。

本プロジェクトに参加する学生の皆さんの力を通して、伊勢市のインクルーシブスポーツの取組は年々大きくなっていきます。今後も誰もが活躍できる共生社会の実現に向けて、学生の皆さんと一緒に活動してインクルーシブスポーツの魅力を発信していきたいと思えます。

担当教員より

CLLインクルーシブスポーツ推進プロジェクトは今年3年目となりました。サンアリーナでのイベントは参加者も多く盛況で、市内小学校への出前授業も好評を博しました。また、アンケート調査を通して、インクルーシブスポーツの普及と共生社会の推進のヒントも得られました。依頼者の伊勢市教育委員会事務局スポーツ課様からは次年度も継続することも伺っています。単年度で完結せず、今から次年度に向けて計画を練っていききたいと思います。

成果物 / 制作物

インクルーシブスポーツ体験出前授業 指導案		
授業者:		
1. 実施日時	令和 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分	
2. 場所	○小学校体育館	
3. 学年・クラス・人数	年 組 人	
4. 内容	インクルーシブスポーツ体験(ポッチャ)	
5. 準備物	【スポーツ】 スクエアポッチャ、メジャー、養生テープ 【学生】 イラスト、その他必要準備物	
6. 本時の目標	①インクルーシブスポーツを体験し、楽しんでいくことができる ②様々な人とスポーツを楽しむことができることを理解できる	
7. 学習の流れ(展開)		
1. 導入 (5～10分)	○聖別・挨拶 ・大学生の自己紹介 ・インクルーシブスポーツの認知 Q「インクルーシブスポーツ知っていますか?体験したことありますか?」 (口頭へ移動) ○スクエアポッチャルール説明 (大学生実演) ・ボールの投げ方:下から投げる ・投げた位置:自チームのエンドライン ・投げた順番:赤→青→緑→黄の順 ※ジャックボールを最初に投球する チームが赤チームになる ・得点:クイズ形式 (注意点) ・人に当たってボールを投げる ・チームで順番を守る ・みんなで楽しくプレーする	→知っている児童に発表してもらおう →児童の反応を見ながら、適宜質問する →2ゲーム目は青チームが最初にジャックボールを投げる(2ゲーム制) →児童の様子を観察し、必要に応じて補助する
2. 展開 (30分)	○試合 ・授業を2つのグループに分け分ける ※1グループ3～6人	→詳しい流れは使用(※事前に確認必要) →グループメンバー男女混合

インクルーシブスポーツ体験出前授業 指導案 (一部抜粋)



全員にお勧めです！運動が苦手でも楽しめるというのがインクルーシブスポーツのよいところです。なので運動が苦手や運動音痴などは関係ないです。みんなで楽しみながら大きなイベントを運営したり、子供からお年寄りの人など様々な人と関わって大学生活をよりよいものにしたい、2度と味わえない唯一無二の大学生活にしたいと思っている人にお勧めです。